

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり報告します。

総 務 文 教 調 査 会

平成 28 年 8 月 8 日 (月)
9 時 57 分 ~ 12 時 00 分
全員協議会室

(委 員) 岡本委員長、上野副委員長

岡野委員、野藤委員、芦谷委員、佐々木委員、田畑委員、江角委員

(議 長・委員外議員) 足立議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、飛野議員
布施議員、澁谷議員、原田議員、牛尾昭議員

(総務文教委員会 所管管理職)

〔総 務 部〕 植田総務部長、坂田行財政改革推進課長、斗光情報政策課長

〔地域政策部〕 砂川地域政策部長、宇津政策企画課長、河上まちづくり推進課長
岡田地域プロジェクト推進室長

〔財務部〕 埴財務部長、草刈財政課長

〔金城支所〕 吉永支所長

〔旭 支 所〕 田村支所長

〔弥栄支所〕 細川支所長

〔三隅支所〕 斎藤支所長

〔教育委員会〕 石本教育長、山本教育部長、佐々木教育総務課長、森脇学校教育課長

〔消防本部〕 藤井消防長

(事務局) 篠原書記 (報道) 中国新聞、山陰中央新報社 (傍聴) 2人

議 題

1 報告事項

- (1) 浜田市有料駐車場の利用状況について
- (2) 浜田市の自治体情報セキュリティ強靱化への対応
- (3) 浜田市まちづくり総合交付金の交付状況について
- (4) 敬老乗車券交付事業の申請状況について
- (5) 「今後の県立高校の在り方検討委員会地域公聴会」の開催について
- (6) 島根県立大学学部増設要望に対する浜田キャンパスの検討結果について
- (7) 平成 27 年度健全化判断比率・資金不足比率 (速報値) について
- (8) 年金収入 収入階層別の割合について (平成 28 年度)
- (9) 土地・建物等に係る譲渡収入金額の推移について
- (10) 弥栄小学校屋内運動場の完成について
- (11) その他

(配付物)

○平成 28 年度運動会及び学習発表会等日程表

2 その他

【以下詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開 議 9 時 57 分)

岡本委員長

ただいまから総務文教調査会を開会する。出席議員は 8 名で定足数に達している。

冒頭、会議に入る前に森谷議員から委員外議員としてビデオ撮影許可申請及び発言の申し出があったので、そのことについて協議したいと思う。

まず、最初に森谷議員から、本日の会議のビデオ撮影許可の申出があった。

このことについては、浜田市議会委員会傍聴規程第 5 条、傍聴人の写真、映画等の撮影の禁止規定により、許可しないということによろしいか。

(「異議なし」との声あり)

次に、委員外議員として、本日の議題の (1) (4) (6)、及び (7) について、発言を求められている。

このことについても前回までと同様に、全員協議会で発言の機会を担保するというので、許可しないということによろしいか。

(「異議なし」との声あり)

この件については、以上で終了する。

では、報告事項に入る。順次報告を願う。

1. 報告事項

(1) 浜田市有料駐車場の利用状況について

岡本委員長

行財政改革推進課長。

行財政改革推進課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について委員から質疑は。岡野委員。

岡野委員

数字についてはだいたい見ての通り。現状把握は分かるが、市として駐車場運営の今後の方向性、将来性といったことは。収入が下がる中での新たな方策はあるのか。例えば 30 分無料はかなりの大サービスだと思う。

行財政改革推進課長

来年度から指定管理に出すべく準備中である。収入増に対する

具体策は持っていないが、利用者の利便性、サービス向上、地域活性化に繋がる施設にすることを念頭に管理をお願いするつもり。

岡野委員 現状でしばらく様子を見るのか。収入が上がるのは厳しい現状だと思う。収入が少々減ってもサービスを優先する考えか。

行財政改革推進課長 昨年の条例改正で、使用料については上限額を設定した。進めていく中で料金設定は自由に出来るようにしていきたい。収入も大事だが、利用者の利便性第一に検討していきたい。

岡本委員長 他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長 ではこの件については終了する。

(2) 浜田市の自治体情報セキュリティ強靱化への対応

岡本委員長 この件について、情報政策課長。

情報政策課長 (以下、資料をもとに説明)

岡本委員長 この件について委員から質疑は。佐々木委員。

佐々木委員 セキュリティ強化と利便性の向上のための取組だと思う。クラウドを使った県内のネット環境を纏めるということだと思う。費用は今までよりコストアップになるのだと思うが、少し説明を。

情報政策課長 単純に前と比べることができない。技術が年々向上するのに合わせて機器構築が必要なので比べられない。情報漏えい事故を防ぐことを第一にしているのでご理解いただきたい。

佐々木委員 当然のコスト負担だと感じた。今後の予定で気になるのが、マイナンバーによる連携開始について。マイナンバー申請登録がなかなか進んでいないイメージがある。連携開始しても果たして機能するのか心配だがどうか。

情報政策課長 平成 29 年 1 月から国同士は連携すると言われていたが半年延びて、来年 7 月からになる。国も対応に苦慮している状況で、色んなことが起きている。これがまた延びる可能性もある。国が決めたスケジュールにそって我々も対応していかなければならない。具体的にはお答えが難しい。

岡本委員長 他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長 ではこの件については終了する。

- (3) 浜田市まちづくり総合交付金の交付状況について
- (4) 敬老乗車券交付事業の申請状況について
- (5) 「今後の県立高校の在り方検討委員会地域公聴会」の開催について

岡本委員長	この3件について一括で、まちづくり推進課長。
まちづくり推進課長	(以下、資料をもとに説明)
岡本委員長	(3)について委員から質疑は、佐々木委員。
佐々木委員	問題解決特別事業はプラスアルファをしてもらって、是非問題解決にあたって欲しいという趣旨の交付金だと思う。旭の方でたくさん提案されているが不採択もたくさんある。新たな提案ではないということなのかとも思うが、何故これだけ多くの不採択が出たのか。
まちづくり推進課長	多くの提案をいただいたことはありがたいが、内容については今までと全く変わらないとか、他地域では地域独自の力でやっている所もあったため。
佐々木委員	とりあえずとのことなので不採択も当然あると思う。なるべく地域の実情に沿った採択を今後もお願いしたい。弥栄は申請がないようだ。団体数の少なさも関係あると思うが、問題も抱えているはずだが。
弥栄支所長	何点か理由がある。一番大きな理由は、まちづくり委員会が組織されるのが平成27年度を区切りとしており、28年度から新たな委員に代わった。今回28年度からの委員は行政主導ではまずいとのことで、弥栄の26自治会の会長を集め、連絡協議会のようなものを設けており、その中から推薦いただいて、弥栄地区と杵束地区の委員を選んでもらった。人選にひと月ほどかかった。また、今までの事業を継続してまずはやっ払いこうということで決まった。新たな事業の話まで協議が進まなかったため申請がなかった。継続事業を新たな委員のもとでやっていくことに集中する決定になったため。
岡本委員長	芦谷委員。
芦谷委員	予算化された件数と想定件数に比べ、申請数はどうだったのか。
まちづくり推進課長	すべての団体が50万円とっても大丈夫な予算組にしてある。32団体あるが、約半分の申請数しかまだきていない。ただし今後はこちらからも声かけして、まちづくりが停滞しないようにした

い。

芦谷委員 一般的に役所の手続きが面倒臭い。新たな事業を展開する上での事務手続き等の地域の声はどんなものがあったのか。事務処理に長けた、あるいは役所に精通している人の方が適している。地域の声を把握していれば聞かせて欲しい。

まちづくり推進課長 わずらわしさはあつただろうが、職員が話し合いの場に参加して一緒に作った町内もある。あまり困ったことはない。

芦谷委員 今後 28 年度の追加募集、あるいは取り組んでない地区にお願いするなど。また 29 年度への展望があればうかがいたい。

まちづくり推進課長 予算的には余っているが、一旦 7 月で区切りをつけ、一定の所は終わったと思っている。ただ、これから冬場に向け応募等の相談が出れば追加募集の可能性もある。今年度は手探り状態だったので、採択までの流れを皆で検証し、来年度はヒアリングしたりプレゼンしたりと、色々検討していきたい。

岡本委員長 上野副委員長。

上野副委員長 この事業は大変良い事業だと思う。できれば、基礎交付金を減らしてもこのような形がいいと思う。各自地区でも広がればいい。

まちづくり推進課長 地域で何がうちの課題かを考える機会になったことが一番のメリットだったと思う。市も課題が把握できるし今後も続けたい。

岡本委員長 他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長 ではこの件については終了する。

次に(4)について委員から質疑は。佐々木委員。

佐々木委員 交付率 16.4 パーセント。若い人が帰ってくれば増えるという話だった。私の記憶の中では、だいたい交付率 3 割程度ではないかという予算組がしてあったと思う。今のところ約半分。具体的なケースに行くと、よく考えれば要らなかったという場面に自分も出くわした。3 割というのが到達点としても難しいのでは。どう判断しているか。

まちづくり推進課長 1 ヶ月で 16.4 パーセントなので、担当課としては逆にもしかしたら 3 割超えるのではと思っている。知らなかったり免許証返納を悩んでおられる方が相談かねて来られたりする。急激にはないだろうが、今後少しずつ増えていくと予測している。

岡本委員長

他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(5)について委員から質疑は。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(6) 島根県立大学学部増設要望に対する浜田キャンパスの検討結果について

岡本委員長

この件について、地域 PRJ 推進室長。

地域 PRJ 推進室長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について委員から質疑は。岡野委員。

岡野委員

平成 27 年 4 月 1 日から副学長を座長とする検討委員会が設置され、その 1 年 4 ヶ月後に学長から検討結果報告があったが、その間どういう検討がなされたのか。例えば会議が何度開かれたのか。

地域 PRJ 推進室長

浜田キャンパス将来構想検討委員会は、会議が設置された後、概ね 2 ヶ月に 1 回程度皆で揃って協議を進めた。ただ、キャンパス内の検討結果が外に漏れることはなかった。

岡野委員

大して協議していないのでは。こういう会だけ作って、理由づけを後から持ってきたのが見え見え。子どもの数は低減しているが進学率は上がっている。実際は大学生の数は今後数十年変わらないのだから、無理やり理由を付けたのが見える。自分に都合の良い所だけを持ってきたのが分かる。総合政策学部専攻を設けない理由も気になる。

地域 PRJ 推進室長

学生数について、そうした視点もあると思うが、2018 年問題を契機として国立大学も学部・学科増による定員増は文科省も認めない方向性が打ち出されている。

また、学内で国際と地域を両立させるとのご指摘だったと思うが、大学自体が現在 2 つの大切な目標を掲げる中で、そのうち 1 つを特化する判断は大学として難しかったのだと思う。

岡野委員

文科省について言うと、方針は決まっていて専門性が低いものや社会的需要が低いものは、定員削減の方針を出す一方、専門性や人気の高いものは定員を増やしている。アピールの仕方によっ

て全く見える面が違う。この問題は市長提案なのだが、執行部側はどう受け止めているのか。浜田市としてどう捉えているか聞きたい。

地域 PRJ 推進室長

文科省の学部学科再編方針について、委員のご指摘のとおり見直す際には新しいところは増えることもあるが、全体としての人数は変わらないということはあると思う。

それから私も大学の代弁をするような答弁をしてきたが、大学から前向きな回答が貰えなかったのは非常に残念だ。市長もこの回答を受けてコメントを出している。まず、地域政策部の増設と定員増について大学から前向きな回答がないのは非常に残念だと。

全国の大学では地域活性化を担う人材育成を目的として、地域系の学部や学科開設の流れになっている。過疎化、高齢化が進む島根県ならば余計にそれに対応するのが急務だと考えている中で、もしかしたらそういう方向を目指す学生が他所へ流れているのではと懸念している。それから、これから法人や島根県でも検討されるのでそれを注視し今後の対応を検討していくというコメントだ。

岡野委員

市長がそう言われているなら大変心強いが、この問題は引き続き浜田市として強く要望していく必要がある。県国との交渉が必要であり、1 大学が決められるものではないと思っている。

岡本委員長

他に質疑はあるか。野藤委員。

野藤委員

検討結果が出たとのこと。当初から学部の増設は難しいのかと思っていたので、ある部分では仕方ないとも思っている。地域連携機能の強化として大学側が打ち出してきたことは評価している。開学時は市と大学の連携が取れていたが今は低調ではないかという声もある。今後地域連携機能の強化について市としてどのように取り組んでいかれるのか。

地域 PRJ 推進室長

地域連携に関しては、これまでも公開講座等で地域と連携して、国の事業も体現するような形で進めて来られた。そのセンター機能を更に強化していくということなので大いに期待したい。元々地域政策は、大学の先生方や学生の皆さんが地域と一緒に地域課題を解決するものであり、地域にとってもありがたい。益々

進んでいけるよう注目が必要だ。

野藤委員

まちなかゼミとか、まちなか活性も含めて利用をお願いすることもしていた。そういった所の提案も、地域の方々と大学の交流が今は少ないのではという指摘もあったので考えていただきたい。最初の要望事項、学部増設についても、はい分かりましたとすぐ下げるのではなく、引き続き容赦していただきたい。

地域 PRJ 推進室長

今回の大学の結果は仕方ないとは受け止めていない。どういう形になるか分からないが、引き続き地域から声を上げ、大学支援協議会等と連携して要望なり協議なりしていきたい。

地域政策部長

要望したことがゼロ回答に近かった。協議会の報告があった後、追加の協議事項ということで、今後の法人及び県の検討状況を見ながら必要に応じて改めて要望するなどの取組を進めていくとすることで協議会の皆様のご了解も得ている。

地域 PRJ 推進室長

先ほどの回答に間違いがあった。検討委員会の開催頻度について2ヶ月に1回程度と説明したが、元々は1ヶ月に1回の予定だった。概ねそのスケジュールでやっているものと考えている。

岡本委員長

他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。ここで休憩を取りたい。11時10分まで。

[11時02分 休憩]

[11時10分 再開]

(7) 平成27年度健全化判断比率・資金不足比率(速報値)について

岡本委員長

この件について、財政課長。

財政課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について速報値の報告で、9月定例会に改めて報告されるが、委員から何か質疑があるか。岡野委員。

岡野委員

数値はかなり良くなっているが、県内他市との比較ではどの程度の位置づけか。

財政課長

まだ速報値であり確定値が出てないので他市の状況が分からない。9月の決算委員会の場で明らかにしたい。

岡本委員長

他に。

岡本委員長

(「なし」という声あり)

ではこの件については終了する。

(8) 年金収入 収入階層別の割合について (平成 28 年度)

(9) 土地・建物等に係る譲渡収入金額の推移について

岡本委員長

この 2 件について一括で、財務部長。

財務部長

本日税務課長が出張で欠席しているため、私から説明をさせていただきます。

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

(8)について委員から質疑は。佐々木委員。

佐々木委員

更に詳しい分析ありがたい。年金の収入、特に女性が少ない中で、つい 4、5 日前に自分も体験したのだが、隣の高齢女性に医療保険課から電話がかかるといいうわゆるオレオレ詐欺。そんな少ない収入で多額な詐欺にかかるのがいかに大きな問題か、再確認した。是非そういった方々が被害にあわないような取組が必要だと感じた。

年金制度の崩壊が来るとの話の一方、国も年金財政の安定化に向けてこの数年取り組んでいる。一番怖いのは崩壊の噂が広まって若い世代が年金をかけなくなることだと思う。あまり崩壊と言わない方が良い。

財務部長

うかつに崩壊という言葉を使うのが記念なのは承知している。浜田市のように高齢化が進んでいる所にとっては一番の課題ではないかと思う。オレオレ詐欺の問題は地域でのコミュニケーション不足、防災と同じく力を入れねば住みやすいまちにはならない。声なき声についてじっくり考えて行政が支援する必要がある。

岡本委員長

他に。岡野委員。

岡野委員

公的年金収入が男女平均で 200 万円以下が 84.2%ということではびっくりしている。広域行政組合監査委員なので資料を見た所、平均寿命と健康寿命が県内で一番低いのが浜田市。こうした年金が少なく医療を受けられない、受けないといったことが背景にあるのではないかと。行政が医療や福祉で手助けしないといけない。

財務部長

まさしく浜田市の最大の課題としてやらねばならない点だと思う。日本は世界最短で高齢化社会を迎えた。最短であったために行政が対応できていない。大きな課題と認識している。

岡本委員長

他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

では(9)について委員から質疑は。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(10) 弥栄小学校屋内運動場の完成について

岡本委員長

この件について、教育総務課長。

教育総務課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について委員から質疑は。岡野委員。

岡野委員

バドミントンコート2面と、わざわざ設けた理由は。

教育総務課長

理由は持ち合わせていないので後ほど確認して回答したい。

岡野委員

バドミントンが弥栄で盛んなのか疑問に思ったのだが。特に理由はないのか。

教育総務課長

特に弥栄で盛んだとは伺っていないが、こういったコートがとれるようにはしている。

岡本委員長

他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

では私から質問したいので進行を交代する。

上野副委員長

岡本委員長。

岡本委員長

給食の試食に行った。建物を建てる時の最終決定者はどなたなのか。

教育総務課長

最終的には市が発注するので市長となるが、色々なものは教育委員会で検討している。

岡本委員長

教育委員会のどなたなのか。課長か教育長か、部長か。

教育総務課長

教育委員会になる。

岡本委員長

弥栄の小学校、木を使用して気に入っているのだが、屋内運動場がアンバランスに見える。コンセプトは何なのか。回答があれば。

教育総務課長

建設までには多くの声を聞いているが、参考にしていきたい。

岡本委員長

教育長は建物を見たのか。

教育長

まだ、見ていない

岡本委員長

総務部長は見られたか。

総務部長

所管外なので、見ていない。

岡本委員長	是非ともその辺は意識していただけないか。私の見解が偏っているかもしれないが、非常に憤慨した。支所長はどう思うか。
弥栄支所長	見ているが、非常に言いにくいですが、瓦であれば良かったなどは感じた。
岡本委員長	瓦ではなく、木をふんだんに使っているのが良さなのに、何故体育館の外観にそれを活かせなかったのか。せめて前面だけでも。そういうことは誰かがチェックしなければいけないだろう。
上野副委員長	進行お返しする。

(11) その他
(配付物)

○平成 28 年度運動会及び学習発表会等日程表

岡本委員長	配布物が 1 つあるので確認願う。
政策企画課長	その他執行部から何かあるか。政策企画課長。 地域政策部から 2 点ほど追加で報告させていただきたい。 (以下、資料をもとに説明)
まちづくり推進課長	(以下、資料をもとに説明)
岡本委員長	報告が終わった。この件について委員から質疑があるか。
岡野委員	大変残念。この便は大変便利で利用者も多かった気がする。石見空港は代用にならない。現状それが難しいのであれば、浜田から広島へ行きバスを乗り継いだ場合、浜田を夕方何時に出る向こうに到着ける便があるのか、新幹線や飛行機と比べて金額はどうか。大学生やUターンの方は時間の制約の中で移動しているので、需要があるのではないかと。もし分かれば教えて欲しい。
まちづくり推進課長	正確なものは持ち合わせてないが、浜田から広島が 10 便。広島からは 5 社東京へ出ており、運賃は 8000 円程度である。担当課としても浜田から広島、新幹線も学割が利く等いろいろなメニューを整理して利用者へ提供したい。
岡野委員	よろしく願います。
岡本委員長	他に。 (「なし」という声あり)
岡本委員長	この件の質疑は終了する。他に執行部から何かあるか。生涯学習課長。
生涯学習課長	口頭で報告させていただく。全国高校総体体操大会が開催された。8 月 2 日夕方に開会式が行われ、3 日、4 日が予選、5 日が決勝演技で、5 日の 17 時から閉会式が行われ全日程が終了した。準備段階を含め期間中には多くの生徒、教員、体操関係者、市職員に支えて貰った。結果は常連校が上位を占めた。浜田高校は 30 年ぶりの男女出場となったが、男子予選 41 位、女子は予選 29 位

で決勝寝室はならなかった。しかし大変健闘した。最終日決勝は
のべ 3000 人の方が入って熱気に包まれ盛りあがった。

なおこの報告は全協に資料で報告したい。

岡本委員長

質疑はないか。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

この件の質疑は終了する。他に執行部からあれば。

(「ありません」という声あり)

岡本委員長

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

それでは、全協にどのように提出するか決定する。

- (1) 説明あり
- (2) 説明あり
- (3) 説明あり
- (4) 説明あり
- (5) 資料のみ
- (6) 説明あり
- (7) 説明あり
- (8) 説明あり
- (9) 資料のみ
- (10) 資料のみ

追加の（地方創生推進交付金の申請に伴う「はまだ暮らし応援事
業」の変更について）資料のみ

（高速バス「益田・浜田～東京線」の路線廃止について）

資料のみ

（平成 28 年度全国高等学校総合体育大会体操競技について）

説明あり

以上のような形で配布及び説明をお願いします。

2. その他

岡本委員長

その他何かあれば。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

では調査会を終了する。

(閉 議 12 時 00 分)

浜田市議会調査会規程第 6 条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

総務文教委員長 岡本正友 ㊞